

銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号
加藤金属興業株式会社

◎ 2019年8月の国内電気銅建値は下記の通りです。

8月	1日	～	690円/Kg
8月	5日	～	650円/Kg
8月	14日	～	660円/Kg
8月	19日	～	650円/kg
8月	26日	～	640円/kg

2019年8月度は平均で652.80円/kgとなり、前月比35.30円/kgの値下がりとなりました。

海外銅価の動き

8月のLME銅相場	8/1～8/29	(安値ドル5,647.00～5,876.00 高値ドル)
8月のNYC銅相場	8/1～8/29	(安値セント252.60～266.45 高値セント)

8月度のLME現物は、8/1 \$5,876.00 でスタート。1日、米中貿易協議についてトランプ米大統領が、ツイッターで中国の姿勢を批判し9月1日より3000億ドル分の中国製品に10%の追加関税を課すと表明。米中間の摩擦激化から、景気後退への懸念が強まる。8月半ばには欧州中央銀行が追加の金融緩和に動くとの観測が浮上し、株安に歯止めがかかった形となり、16日には米株式市場が上昇。ニューヨーク外為市場では、低リスク通貨とされる円が売られる動きもあった。8月後半には、米中互いに対抗措置を発表するなど激しく動くかに見えるも、トランプ大統領の中国は合意を希望しているとの発言により、沈静化となった。

LME現物価格は\$5,900を一度も超えることなく推移。在庫についても8/15に30万tを超えて増加を続けている。米中経済戦争が一定の決着を見るまでは、この状況は続かざるを得ないと思われる。

銅需給バランス…Brook Hunt 情報 2019年1月 資料より (単位/千トン)

	2017年 実績	2018年 実績	前年比	2019年 予想	前年比	2020年 予想	前年比
全世界地金生産	23,050	23,561	+2.2%	24,237	+2.9%	24,854	+1.9%
全世界地金消費	23,108	23,782	+2.9%	24,413	+2.7%	24,981	+1.8%
全世界需給バランス	-58	-211		-175		-127	

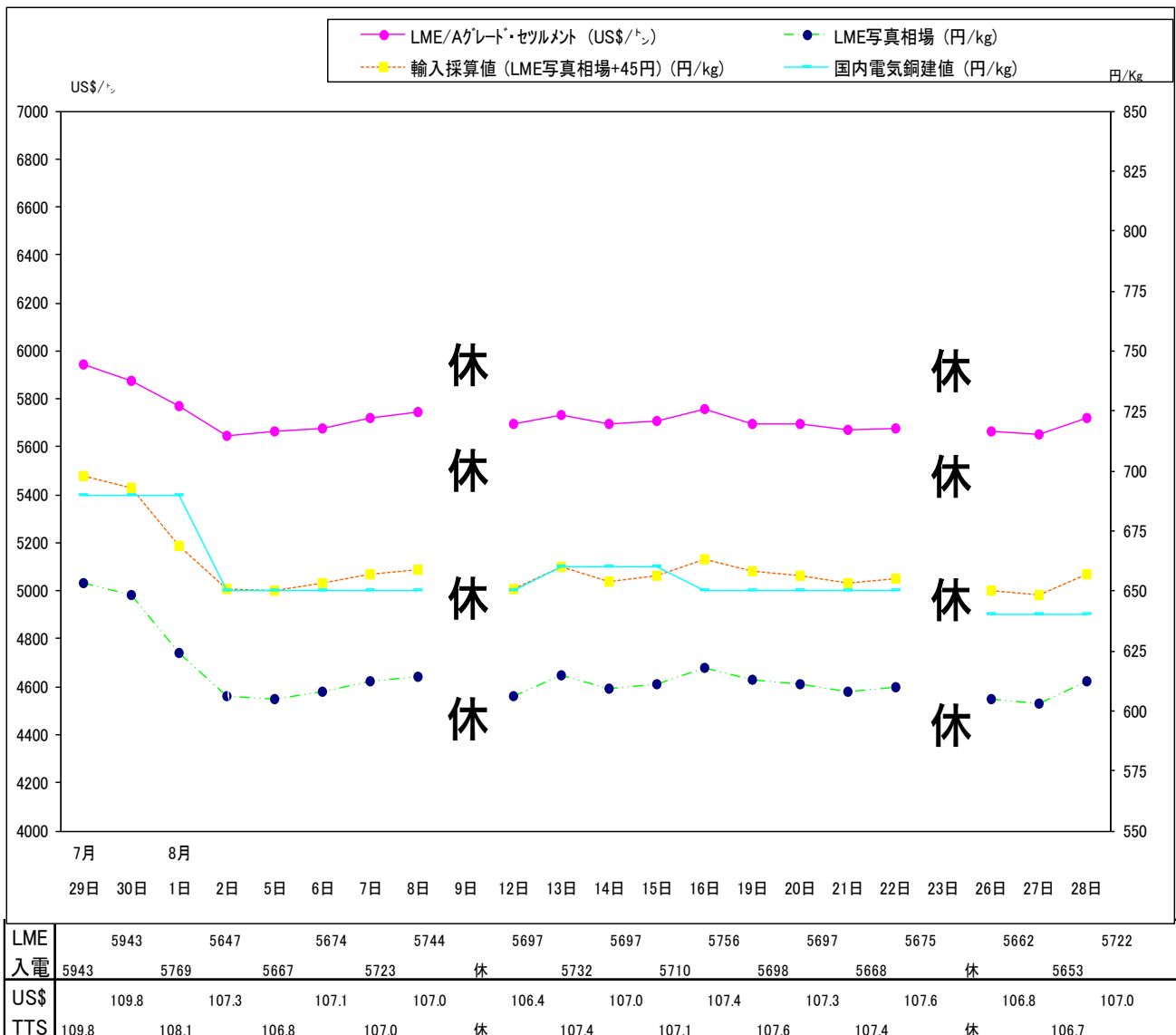
先行き短期見通

国内銅価

8月度の国内建値は1日690円/kgでスタート。世界経済は悲観的要素が強く銅相場の見通しも見えて来ない。\$6,700を挟んでの動きに終始しており、やや円高傾向も合わさる中で、5日650円/kg、14日660円/kg、19日650円/kg、26日640円/kgまでジリジリと下げる形となった。

8/28付LME \$5,653.00、28日付為替(TTS) 1USD=106.76円で日本円換算計算値604円/kg。2019年8月の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り、640円の予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2019年8月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 8月 1日 ~ 316 円/kg
- 8月 6日 ~ 295 円/kg
- 8月 9日 ~ 292 円/kg
- 8月 19日 ~ 286 円/kg
- 8月 26日 ~ 283 円/kg

平均292.30円/kg

2019年8月は上記の通りで前月比 21.80円/kgの値下げとなりました。

これはLME亜鉛相場の下落で引き下げられたもの

◎ その他の建値

電気鉛	8月	281.60 円/kg	(前月比+ 6.20 円/kg)
電気錫 (相対)	8月	3,240.00 円/kg	(前月比- 150.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	8月市中価格	1,800.00 円/kg ~ 1,850.00 円/kg	
銀	7月平均	56,200.00 円/kg	(前月比+ 2,680.00 円/kg)
	8月29日	63,500.00 円/kg	
金	7月平均	4,952.14 円/g	(前月比+ 206.49 円/g)
	8月29日	5,245.00 円/g	

◎ 伸銅品関係

2019年7月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		6月度実績	7月度速報	前月比	前年7月度実績	前年同月比
銅	板	1,787	1,563	-12.5%	1,611	-3.0%
	条	21,784	22,808	4.7%	23,025	-0.9%
	管	9,448	9,697	2.6%	9,422	2.9%
	棒	2,271	2,412	6.2%	2,336	3.3%
	線	261	308	18.0%	264	16.7%
黄銅	板	655	703	7.3%	686	2.5%
	条	8,640	8,342	-3.4%	9,356	-10.8%
	管	485	558	15.1%	508	9.8%
	棒	14,442	15,220	5.4%	15,370	-1.0%
	線	2,100	2,065	-1.7%	2,827	-27.0%
青銅	板	1,788	2,024	13.2%	2,866	-29.4%
	条					
	棒	241	245	1.7%	259	-5.4%
	線	59	55	-6.8%	61	-9.8%
洋白・その他	板	367	461	25.6%	497	-7.2%
	条					
	棒	37	43	16.2%	43	0.0%
	線	435	433	-0.5%	465	-6.9%
合計		64,800	66,937	3.3%	69,596	-3.8%

7月の伸銅品生産速報は、66,937トンで前月比プラス2,137、前年同月比マイナス3.8%となり、前年同月比が8ヶ月連続でマイナスとなりました。

電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の5月分実績及び6月分推定によれば5月分実績は、大型連休がありながらも、建設電販と自動車为好調で、総計は56,472tで前年同月比2.7%増と好調で、2ヵ月連続で増加した。

一方、6月分の銅電線出荷推定では、建設電販と自動車が健闘しているが、電気機械と電力が振るわないほか、その他内需も振るわず総計は56,900tで同3.6%減と3ヵ月ぶりに前年を割り込む見通し。

5月分の部門別出荷をみると、プラスグループは通信、電力、自動車、建販の4部門となった。通信は需要の山場が続き、前年同月比8.8%増と連続で伸長した。一部建販絡みのLANケーブル等も健闘している見込み。電力は、OFからCVケーブルへの張替需要が動き、同3.8%増加した。ただ、6月は二桁減に沈む見通し。自動車は、自動車生産台数が同9.8%増と好調で、それに連動し電線出荷も同13.2%増と8ヵ月連続で伸長した。建設電販は、東京五輪施設、首都圏再開発プロジェクト、駅舎のリニューアルなどの需要が活況で、2.78万tで9%の伸びを示し、8ヵ月連続の増進となり、6月も少ない稼働日の中、プラスの見通しだ。

一方マイナスグループは電気機械、その他内需、輸出の3部門になった。電気機械は米中貿易摩擦と中国経済の減速で同3.5%減少し、9ヵ月連続で前年を割りこんだ。その他内需も同1.4%減で6ヵ月連続で下降し、輸出も同51.3%減と大幅に下降した。

2019年5月分(実績)・2019年6月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	5月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	6月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	5月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通 信	899	▼ 5.7	8.8	800	▼ 11.0	2.0	1,408	(▼)5.9	2.7
電力	(1,547)	(50.9)	(▼)24.9	(1,500)	(▼)3.0	(14.5)	1,169	(70.9)	(▼)12.4
	4,274	9.3	3.8	3,800	▼ 11.1	▼ 12.2	5,594	17.3	16.4
電気機械	(335)	(▼)7.7	(27.4)				296	(▼)8.1	(26.5)
	11,211	▼ 3.6	▼ 3.5	11,500	2.6	▼ 10.5	15,258	▼ 2.0	▼ 7.8
自動車	(144)	(▼)12.2	(80.0)				473	(▼)10.8	(42.5)
	7,099	▼ 6.8	13.2	7,400	4.2	8.1	33,902	▼ 3.9	17.7
建設・電販	(18)	(▼)55.0	(▼)35.7				17	(▼)51.4	(▼)39.3
	27,683	▼ 7.0	9.0	27,800	0.4	0.4	31,894	▼ 7.6	4.9
その他内需	(75)	(4.2)	(74.4)	(500)	(▼)12.6	(▼)14.5	89	(56.1)	(107.0)
	3,987	▼ 5.8	▼ 1.4	4,300	7.9	▼ 4.1	6,955	▼ 7.8	5.4
内需計	(2,119)	(27.3)	(▼)14.4	(2,000)	(▼)5.6	(5.5)	2,044	(25.5)	(3.8)
	55,153	▼ 5.1	5.5	55,600	0.8	▼ 2.4	95,012	▼ 4.2	7.3
輸出	(2)	(100.0)	(▼)92.0	(300)	(14900.0)	(4.2)	11	(83.3)	(▼)52.2
	1,319	1.5	▼ 51.3	1,300	▼ 1.4	▼ 37.4	4,468	▼ 3.9	▼ 60.4
合計	(2,121)	(27.4)	(▼)15.2	(2,300)	(8.4)	(5.4)	2,055	(25.7)	(3.1)
	56,472	▼ 4.9	2.7	56,900	0.8	▼ 3.6	99,480	▼ 4.2	▼ 0.3
心線販売	(417)	(▼)28.5	(▼)64.9	(400)	(▼)4.1	(▼)60.3	108	(▼)28.0	(▼)67.6
	29,512	0.6	6.0	29,900	1.3	▼ 2.9	21,773	1.5	1.8

(注) ()内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は

「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。

金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

2019年5月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	3,461	▼ 8.9	2.8	3,071	▼ 18.9	1.8	
巻線	10,607	▼ 4.1	0.2	11,398	▼ 2.9	▼ 2.0	
機器用電線	3,294	▼ 3.6	▼ 7.0	9,329	▼ 1.4	▼ 10.1	
通信用電線・ケーブル	1,345	▼ 6.8	▼ 6.8	2,945	▼ 5.5	▼ 5.0	
電力用電線・ケーブル	21,436	▼ 5.2	6.0	22,786	▼ 2.9	▼ 13.1	
被覆線	10,581	▼ 4.7	▼ 0.1	15,120	▼ 4.3	2.1	
輸送用電線	5,748	▼ 3.8	9.6	34,830	▼ 4.5	13.6	
銅電線計	56,472	▼ 4.9	2.7	99,480	▼ 4.2	▼ 0.3	
	通信用電線・ケーブル	84	▼ 2.3	50.0	239	▼ 15.8	27.8
	電力用電線・ケーブル、被覆線	3,335	▼ 5.6	47.8	3,863	▼ 5.5	42.5
	計	3,423	▼ 5.5	47.7	4,123	▼ 6.2	41.1
アルミ電線計	2,121	27.4	▼ 15.2	2,055	25.7	3.1	
	3,373,011	▼ 13.0	▼ 18.1	21,131	▼ 4.8	0.2	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	4,746	14.7	31.9	

(注) 1. EM電線・ケーブルはJCS規格17品種が対象であり、機器用、消防用等のノンハロタイプは含まれない

(注) 2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注) 3. 光製品の数量はkmc

(注) 4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週は、米中貿易戦争の一時休戦を受けセンチメント改善から一時上値を試みるも、各国の弱い経済指標を受け後退。また、ロンドン時間ではECBによるハト派的な発言を受け、欧州債の利回りが低下。急激なユーロ安を受けアルミ相場は下げ幅を拡大し\$1,800を下回る展開でスタート。第2週、米国6月雇用統計は予想を上回る結果で利下げ期待後退からドル高圧力を受けアルミ相場の重しとなった。LME在庫がGW意向で約30万MT減少しており、二週間ぶりの\$1,820台となった。このまま在庫は減少すると見込まれる。第3週、中国第2四半期のGDPは6.2%と米中貿易戦争の影響を示す結果となった一方で、6月単月の鉱工業生産・小売高などは予想を上回る結果となり、同国の景気刺激策が効き始めた兆候とのも方から相場のサポート材料となった。米6月小売売上高が予想に反した伸びを見せたことでニッケルが急騰。つられる形で銅、アルミも上昇。アルミは2か月ぶり高値の\$1,856.5まで上昇。LME在庫に4.9万トンの増加があり、下げ上げ両方の要因が重なりやや弱気な推移となる。第4週、英国ジョンソン新首相は10月のEU離脱を繰り返し表明、ユーロが売られ、強いドルがメタル価格を総じて押し下げた。しかしながら米中協議の再開などポジティブなニュースもあり狭いレンジでの推移となると思われる。\$1,800台前半\$20の狭い範囲での推移予想であるが、FOMC以降は大きく動く可能性があると思われる。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー（CIF） 2019年 7月積 1,905.00~1,915.00 ドル/トン
- ・輸入採算価格 2019年 7月積 220.50~221.70 円/kg
- ・NSP 2019年 5月 249.90 円/kg
- ・NSP（メーカー対応価格） 2019年 7月~9月 270.00 円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高（単位=千トン）

	'19年5月	'19年6月	'18年6月
月生産	*2,351.0	2,290.0	2,284.0
平均日産	*75.8	76.3	76.1

(*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

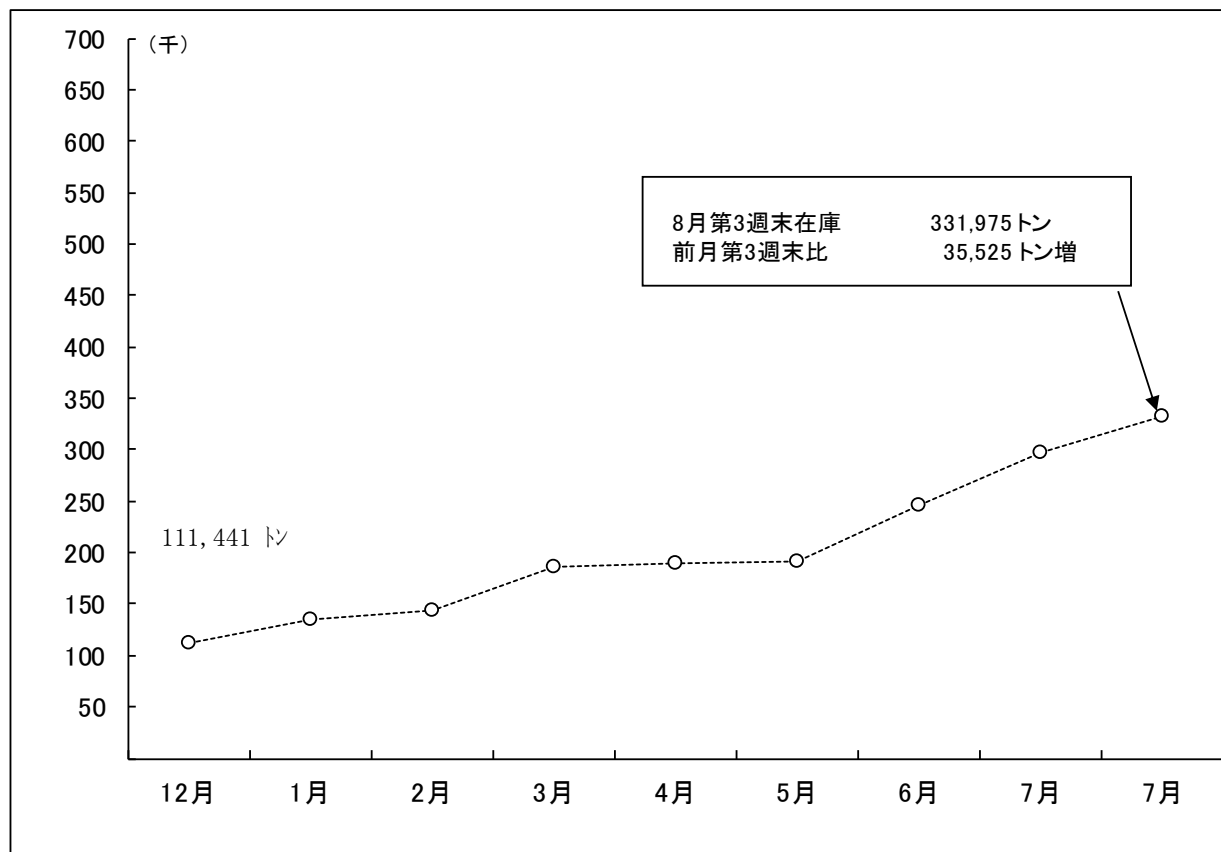
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位：トン)

	2019年3月	2019年4月	増減	2018年4月	増減
横浜	147,400	150,900	+3,500	122,500	+28,400
名古屋	133,500	134,100	+600	129,600	+4,500
大阪	15,000	15,000	±0	15,000	±0
合計	295,900	300,000	+4,100	267,100	+32,900

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・19年8月16日現在 41,574 S T 前月比 3,900 S T 増

◎ 国内山元電気銅在庫

・19年6月末 106,313 トン 前月比 11,302 トン減

◎ 伸銅品生産実績

・19年6月確報 64,800 トン
 ・19年7月速報 66,937 トン 前月比 102.8 %

◎ 電線出荷実績

・19年7月速報 64,300 トン 前月比 113.0 %

◎ 軽圧品生産実績

・19年 7月	板 類	107,592 トン	
	押 出 類	68,172 トン	
		<hr/>	
		175,764 トン	前月比 105.9 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。